



平成26年8月7日

各位

上場会社名 アジアグロースキャピタル株式会社
 代表者 代表取締役社長 小川 浩平
 (コード番号 6993)
 問合せ先責任者 総務部長 岩瀬 茂雄
 (TEL 03-3448-7300)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年7月2日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,803	1,369	964	279	3.54
今回修正予想(B)	8,012	1,094	749	179	2.33
増減額(B-A)	△1,791	△275	△215	△100	
増減率(%)	△18.3	△20.1	△22.3	△35.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	206	△121	139	142	2.83

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,705	2,559	1,975	650	8.19
今回修正予想(B)	16,913	2,284	1,828	583	7.52
増減額(B-A)	△1,792	△275	△147	△67	
増減率(%)	△9.6	△10.8	△7.5	△10.4	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	9,172	1,146	1,118	279	4.80

修正の理由

(第2四半期累計期間)

連結子会社である株式会社大黒屋(以下「大黒屋」といいます。)が営む質屋、古物売買業において、ブランド品の定価上昇に加え、昨年末からの円安傾向及び消費税率の引き上げにより、中古ブランド品の税込価格が一層割高感となり、平成26年4月、5月における国内需要は一時的ではあるものの想定以上に低迷いたしました。また、当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)において、平成26年3月5日付で割当てを行ったライツ・オフリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)による新株予約権の行使関連費用、平成26年5月16日から同年7月1日の期間で実施した株式会社ディーワンダーランド株式の公開買付関連費用、大黒屋における広告宣伝強化費用、さらに、平成26年4月22日付けで大黒屋で実施したリファイナンス関連費用の費用合計276百万円を計上しており、利益を押し下げる要因となっております。

上記を踏まえ、平成27年3月期第2四半期累計期間における連結売上高、営業利益、経常利益及び四半期純利益を上記の通り修正することといたしました。

(通期)

通期につきましては、質屋、古物売買業における国内需要が回復傾向にあること、外国人旅行者のブランド品需要が高まるなかで平成26年訪日外国人数が過去最多となる見通しであること、大黒屋ホームページのリニューアルが販売促進に寄与すること、さらには、大黒屋基幹システムの更新に伴い商品化を控えていた流質(質流れ品)の商品化が第3四半期以降の売上高及び利益に貢献する見通しであること等の増収、増益の要因を考慮するものの、前回発表予想を上記の通り修正いたします。

以上